

閉会式ではチアリーディングチーム「グローリアス」の演技の披露も



白熱 インターハイレスリング競技

8月2日～5日に文化公園体育館で全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のレスリング競技が実施されました。高校日本一を決めるこの大会の期間中に、選手・役員を含めた延べ来場者約10,000人が訪れ、大会は大きな盛り上がりを見せました。

また、東舞鶴高校や西舞鶴高校、日星高校の学生約240人のほか、府内の高校生がボランティアとして大会運営に携わり競技大会の成功に貢献しました。また、ちびっ子レスリング教室に通っている子ども達



▲舞鶴出身の中嶋史康選手（海洋高校2年）による選手宣誓

は、レベルの高い試合に見入り、インターハイが大きな目標になったようです。

市は、スポーツ振興によるまちづくりの推進のため、さまざまなレスリング大会の誘致・開催や大学などのレスリング部の合宿誘致、姉妹都市のナホトカ市とのレスリングを通じた交流など、レスリング競技を本市に根付かせるための取り組みを進めていきます。

《スポーツ振興課》

高校生ボランティアに聞きました



大田優希さん（日星高校2年）

ボランティアでは、関わる人に笑顔で接して喜んでもらえるよう心がけました。

また、チアリーディング部に所属していて、開式と決勝で演技しましたが、会場の熱気に後押しされていい演技ができました。



畑詩織さん（西舞鶴高校1年）

総合案内所で会場案内などを担当していました。

今回、レスリングの全国大会を初めて見ました。私もバドミントン部に所属していて、参加選手たちと同じく全国大会に行きたいと思いました。



日星高校野球部は全国高校野球京都大会と並行して開会式の練習をしました。インターハイは僕たちにとっては「甲子園」と同じ。選手の印象に残る大会にするために、気持ちを引き締めてプラカードを持って行進しました。※左から岡安祐賢君、帆風雄介君、村上政宗君。いずれも日星高校1年。

加佐の農業・農村をもっと元気に

「地域おこし協力隊」に山本さんが着任

加佐地域で農業体験などの田舎体験モデル事業や農家レストランなどの農村ビジネスの支援、そして、移住希望者への支援などの田舎の魅力づくりや情報発信に取り組む「地域おこし協力隊」の隊員として山本未佳さんが着任。

地域おこし協力隊とは、都市住民の視点や技能を取り入れるため、地方への移住者を一定期間非常勤職員として採用する制度。山本さんは長岡京市から移住し、大庄屋上野家にある加佐地域農業農村活性化センターに勤務します。



加佐地区に地域おこし協力隊員として着任することになりました。趣味はカメラ、旅行、ダイビングなどで「興味を持ったことにはまず挑戦!」の精神を信条にしています。

誰かのため、何かのために役立つ様に一日一日を積み重ねて行きたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



市民による政策評価会



▲市民評価員、判定員のほか多くの傍聴者が参加

みらい戦略推進会議



▲市長が地方創生の総合戦略を説明

地域が一丸となって 地方創生を

創生に向けた提案」を題材として意見交換と評価を行いました。みらい戦略推進会議の委員の中から依頼した市民

評価員のほか、市民の皆さんも市民判定員として多数出席。まちの活性化やまちづくりなどに関する提案について活発な意見が交わされ、市民の皆さんとともに地方創生の確実な推進を図る大変意義のある会議となりました。今後、市民の皆さんと舞鶴版地方創生を進めていきます。

※産官学金労言：産業界・市町村や国の関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアのこと。

〈企画政策課〉

「市民による政策評価会」での提案と評価結果

提案名	提案の内容	評価結果		
		必要性	効果	実現性
まちの人が集まる中心地づくり	西市民プラザをさらに人の集まる場所へプロデュース。FMコミュニティラジオ局を設置。市民による番組作りを行い、その場で生放送が聞ける憩いの場にする。	高い	一定の効果がある	課題はあるが実現可能
文庫山観光拠点化計画～赤と青と緑の交わる場所～	文庫山に「観光案内」「船の博物館」「レストラン」の機能を備えた施設「サカノボル」を建設する。	高い	高い	課題はあるが実現可能
東舞鶴コンパクトシティ	八島公園とその周辺に福祉施設・交流施設・テナント・市営住宅・宿泊施設等を建設し、コンパクトシティをつくる。	それほど高くない	一定の効果がある	課題が多い
中学生向け舞鶴のガイドブックの作成	舞鶴を好きになり住み続けてもらうため、歴史・文化・産業・食べ物など、幅広い分野の知識や情報を載せたガイドブックをつくる。総合学習の時間に楽しく学んでもらう。	高い	一定の効果がある	高い

◎「地方創生に向けた提案」は23件の提出があり、評価員などの意見で上記4件について意見交換と評価を実施。
◎全ての提案の内容と「評価会」での意見や評価結果は、今後、地方創生を進める上で活用していきます。



▲議論に耳を傾ける市民判定員



▲内容を説明する提案者



▲議論を進行するコーディネーター